



コミュニティ・スクールだより

おおやぐち

令和6年度 第3号

令和6年10月31日
板橋区立大谷口小学校

PTA会長 佐藤 香織
校長 宮澤 竜太郎

第3回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 推進委員会の御報告

第3回板橋区コミュニティ・スクール(iCS)推進委員会を10月29日(火)に実施し、熟議のあとで給食を試食していただきました。熟議では、「学校の近況について」をテーマに意見交換を行いました。校長より2学期までの途中経過、学校の現状について説明し、その後、委員の皆様より御意見・御感想をいただきました。貴重な御意見をありがとうございました。今後の教育活動に役立てて参ります。

委員会 次第

日時：令和6年10月29日(火) 11時00分～13時00分(給食試食を含む)

場所：大谷口小学校 ランチルーム

内容：1 委員長挨拶

2 学校長より挨拶

3 熟議「学校の近況について」①全国学力・学習状況調査より

②児童の実態を踏まえた地域・家庭・学校の連携

4 事務連絡



校長より

1 全国学力学習状況調査の結果について(結果分析より)

★国語：物語文等で全体像を想像したり、表現の効果を考えたり、大事なことを要約したりする問題の苦戦、無解答が目立つ。自分の考えをもち、アウトプットすることに抵抗を感じている児童が多い。既習漢字の定着が低い。

★算数：全国や都比べ、正答数下位グループの分布が多いこと、数と計算のような基礎的・基本的な学習内容の定着が図られていない児童がいる。

★学校質問紙より。

○友達が困っていたらすすんで助けたり、楽しく過ごしたり、友達関係に満足する児童が多い。

●決まった時刻に寝ていない児童が多い。

●1日のテレビゲーム(PC、スマホ、携帯ゲーム機等)の時間が長い。

●SNSや動画視聴の時間の割合が多いこと、家庭学習に取り組む時間が短い。

●自己肯定感が低い児童がいる

委員の皆様より

上記について意見交換を行いました。

○国語について。漢字の定着に向け…漢字検定の導入など楽しく学べることも一考を。

読解力の不足について…家庭学習のさせ方について検討してはどうだろうか→音読、読書、読書の効果を考えてほしい。物事を多角的に見たり考えたりする力が必要である。→本校は読み聞かせが充実している。子供たちはお話を熱心に聞いている。読書旬間(11月予定)等、校内で読書に親しむ時間を増やしていく。

○算数等、問題の意味が読み取れていないのではないかと。習熟度別学習の充実も今後さらに図ってほしい。

○児童が学習のどこで躓いているか理解できているのか。→今後AI搭載の学習ドリルが区より配備される予定

○規則正しい生活…朝ご飯を食べてきていない児童がいる。規則正しい生活が送れていない子がいる。こちらがあいさつしても、返事のない子がいる。朝のあいさつができていないと感じる。

○自己肯定感の低さ解消に向けて…学習って楽しいもの、という原点が認識できていない子が多いのでは。疑問をもつことが大切だと感じる。学校の授業でも、子供たちが、問いや興味のもてる内容を追求してほしい。

○一人一台端末の使用…児童に管理を任せるのではなく、学校・家庭でのルールメイキングも必要ではないか。情報モラル教育の必要性…ファミリーeルールの活用。ネットリテラシーなど、学校独自のルールを決めてもよいのではないかと。

○保護者への周知はメールも活用してほしい。プリント等、きちんと伝わっていない御家庭もあるだろう。

熟議

「学校の近況について」

次回予告

第4回コミュニティ・スクール推進委員会は

令和7年1月21日(火) 10:00よりランチルームにて行います。

(文責 校長 宮澤 竜太郎)